

## 解答

一

問一 「猫背」は、大野節の特徴をよく表しているうえ、節がクラスメイトから変だとからかわれている立場であることを強調しているということ。

問二 みんなとちがうこと、変と思われることは、花音たちにとって一番警戒しなくてはならないことなのだ。なずなさんからお便りは、和紙に青い朝顔の版画がついたすしげな葉書に書かれていたので、紙の質感や版画の絵にすしやさわやかさを感じたから。

問三 騒がしい生徒たちの注意を引き、ひと呼吸おいて、大事な宿題の内容を伝えようとしていること。

問四 A 大野節が席から立ちあがって意見をいうのは、めずらしくないこと。

問五 B 大野節が意見を言うこと、事件が起こること。

問六 節が「昔なら、当たり前」などとおじいさんのような発言をするのがおかしかったから。

問七 手紙は自分の字で書くので、自分の思っていることがちゃんと伝わるし、もらったほうもくりかえし読めるので、相手の気持ちがちちゃんと読み取れ、手紙をもらったうれしさを何度も味わえる。そんなすばらしい手紙の書き方を社会のマナーとしておぼえておくべきだということ。

問八 自分の気持ちをよくまとめて、きちんとあらわすことができるから。

問九 節の意見に賛成だが、節のことを「猫背」と表現して、きらわれ者の節と自分は違うということを意識しようとしている。自分も仲間はずれにされる不安から、節に味方できない自分が情けなく、小さな自分を責めている。

問十 節の意見に賛同しても味方をせず、クラスのきらわれ者として扱っている点。

問十一 (花音様) お便りありがとう。きれいな空色の封筒がとてもすてきで、うれしかったです。

みんなとちがうこと、変だと思われることがいやだという気持ち、わかります。でもあなたは、大野君と同じだと思われるのが怖くて、自分の気持ちに正直に行動できなかったことがつらいですね。そのことに気づくことができるのは、とてもすてきなことだと思います。勇気をもって大野君の良さをさりげなく認めて、すこしずつ友だちに話してみてもどうかしら。同じように思っていた人が意外といるものです。あなたとあなたのまわりの人が自分に正直になり、お互いの良さが認め合えるようになるといいですね。

(七月二十五日 滝口なずな)

二

- ① 君臨 ② 届〔ける〕 ③ 誤解 ④ 下降線 ⑤ 修正 ⑥ 点検  
⑦ 延〔ばす〕 ⑧ 演劇 ⑨ 会心 ⑩ 退治 ⑪ 快活 ⑫ 物議

## 解説

一

問九

大野節を「猫背」と表わす時は、クラスのきらわれ者という存在であることを強調しています。花音は、節の意見に賛成なのですが、節と自分は違うということを意識し、節を応援することできらわれ者になりにくくないと思ってしまう自分を責めている様子が描写されています。

問十一

「なずなさんなら、きつと、ていねいな言葉でアドバイスしてくれるはず」という花音の思いに込める内容でまとめるとよいでしょう。